

慶賀新春

本年年行事予定

一月 一日 午前八時	修正会（元旦のお参り）
二月十五日 午後一時	定例法座
三月二十一日 午後一時	春季彼岸会法要
四月十五日 午後一時	定例法座
五月十五日 午後一時	花まつり法座
六月十五日 午後一時	定例法座
七月十五日 午後一時	定例法座
八月十六日 午後一時	孟蘭盆会法要
九月八〜九日	宗祖聖人報恩講法要
九月二十三日 午後一時	秋季彼岸会法要
十一月十五日 午後一時	定例法座
十二月十五日 午後一時	定例並びに大掃除

2015（平成27）年

北広島市大曲緑ヶ丘2丁目16-1 011-376-2255

浄土真宗本願寺派 興徳寺

<http://www.bea.hi-ho.ne.jp/kentyan/>

宮沢賢治の童話の中に「どんぐりとやまねこ」がある。この童話は、賢治が初めて小学校の教師として赴任する直前に書かれた。内容はどんぐりたちの偉さを決める裁判で「いちばんばかで、めちやくちやで、まるでなっていないのが、いちばんえらい」という主人公の一郎の助言で、裁判官のやまねこが判決する。賢治はこの本のための広告のチラシに、この話は「必ず比較されなければならぬ。いまの児童たちの内奥からの反響です」と書いた。これは現在も学校、家庭での教育にもあてはまるのではないか。この童話は賢治が赴任した小学校は僻地校、周辺校のような学校だった。この学校の児童を視野において（人間の価値とは、テストやせいせきなどで優劣をつけるべきではない）として書かれたのであろう。賢治の授業は教科書を使わずに脱線の授業が多かったと言われている。生徒の評判は良かったと言うが親や、教師仲間の評価はどのようなものであったのか。今の我々も賢治から問われている。「本当の幸せとは、本当の喜びとは、本当の人間の生き方とは」と。目先ではなく、「本当」がこんなにわかりにくくなった時代はない。本当を求めよう。